ほけんだより　いのちの学習3年生号

春日井市立鳥居松小学校　H28･12･6 号

3年生では、いのちの学習「いのちのはじまり」を学習しました。

学習内容

1　健康に成長するには、どんな生活をするといいですか？

1学期に保健学習で、生活リズムを整えると健康に生活できることを学習しています。

それをしっかり覚えている子も多く、「ねる・食べる・運動する」「手あらい・うがい」等、たくさんの生活の仕方を考えることができました。

2　お母さんのおなかであなたのいのちがはじまったとき、どんな形で、どれくらいの大きさだったのかな？予想してみよう。

しっかり食べて、ねて、運動して、今は、大きく成長したみなさんですが、お母さんのおなかの中であなたのいのちがはじまったとき、どんな形でどれくらいの大きさだったのか、予想してかいてみました。

その後、プリントの中に示した実際の受精卵の大きさ(0.14mm)に、とても驚いていました。

3　いのちのもとは、どこで、いつから作られるの？

「男の子が持っているいのちのもと」精子と「女の子が持っているいのちのもと」卵子の写真を見せ、体のどこで作られるか、を学習しました。

男子も女子も思春期(小学校4年生くらいから高校1・2年生くらい)に、いのちのもとが作られ始めることを学習しました。

クイズ：男の子は、「いのちのもと」精子を体のどこで、作るのかな？

①心ぞうの中　②口の中　③おちんちんの横のふくろの中（正解は③）

今まで、何のために、あるのかわからなかったところが、「いのちのもと」を作るという働きをしていたことや、もうすぐ「いのちのもと」を作り始めるということに、本当に驚いていました。

女子は、胎児の頃から卵巣に卵子のもとの細胞を100～200万個くらい持っていると言われています。思春期に入り、初経を迎えると左右にある卵巣から交互にひと月にひとつずつ卵子が成長し、子宮へと運ばれていきます。

男子は、思春期に入り、精巣の中で精子を作り始めると、1日に1億から2億もの精子が作られ、精通を迎えます。

4　まとめ

父・母の「いのちもと」から自分が生まれ、そして、もうすぐ「いのちのもと」を作り出す体に成長していく自分の体の変化のことを知り、毎日、健康によい生活をしていくことの大切さを再確認しました。

ご家庭でも、生まれたときの喜びや、健康に成長できていることへの喜びなどについて、話してみませんか？

子どもたちの感想

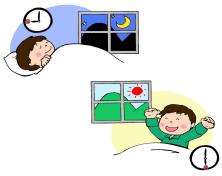
赤ちゃんのいのちのはじまりの大きさをはじめて知って、お母さんやいろんな人に話したいと思いました。（Mさん）

いのちがこんなに大切なことを知りました。男の子にもいいはたらきがあるのだなと思いました。（Mさん）

廿子は小学生から、らんしを作っていると思っていたけれど、本当は赤ちゃんのころからあるなんて、はじめて知りました。わたしはよっぽどのことがないと外に出ないので、これからは、ほうかに外に出て、よくあそびたいと思います。（Nさん）

ぼくはこうやって生まれたことをはじめて知りました。こうやって生まれて、せいちょうしたのは、お母さんのおかげです。（Sさん）

もっと、きらいな食べ物を食べていっぱいせいちょうしたいです。（Mさん）



毎日ごはんを食べてしっかりねたいです。
運動もだいじということをはじめて知りました。（Mさん）

こんなにいのちのはじまりが小さいことがわかった。これから、けがやびょう気をしたくない。（Mさん）

これからもいっぱいそだっていきたいと思った。（Fさん）

これからも、じぶんのおなかから生まれてくる赤ちゃんのために、けんこうにそだっていきたい。（Yさん）

せいしができる場所がわかった。1億個のせいしができるなんてすごいな、と思いました。（I さん）

こんな点もないほどの小さいものがこんなにそだったのがびっくりしました。（Nさん）

命はだいじだとわかりました。体をよくするために、よい生活をして元気に学校に行っていっぱいあそんで、みんなで体をけんこうにしたいです。（Uさん）

はじめのいのちは、こんなにもちいさなことがわかりました。けんこうにそだてば、大きくなって、次のいのちが生まれていくので楽しみです。これからはごはんをしっかり食べて毎日遊んでけんこうな体をつくりたいです。いのちはこんなにも大切なことがわかってよかったです。（Kさん）

わたしたちのいのちはこうやってそだっていくんだなと思いました。これからはごはんをのこさず早ね早起きをしたいと思いました。（Kさん）

やさしい言葉を使って、じぶんのいのちや友だちのいのちを大切にします。（Sさん）

みんなのいのちのはじまりがあんなに小さかったなんて知らなかったです。これからもじぶんや友だちのいのちを大切にしたいです。（Iさん）

じぶんのいのちがどうやってできたかが知れてうれしかった。（Mさん）

この先、子どもをいっぱい生めたら生みたいです。（Sさん）

もう、早い人は9才になっておなかでたまごが子どもになるじゅんびをしているのはすごいと思いました。（Y さん）

いっぱいいのちのもとをつくっていることにびっくりした。（Oさん）

おなかはとても大切なことを知りました。みんなのいのちを大切にしたいです。（Iさん）

一番はじめはじっさいに見たらすごく小さくて、今の自分を見たらすごく大きい気がしたので、ふしぎに思いました。これからもじぶんのいのちやほかの人のいのちを大切にしたいです。（Mさん）